

左

ひだり

「1」年

5画 一ナ左左左

なりたち 左手の形を表した
少と、定規を表した工との会
意形声字。定規を使う時にこ
れをもつ「ひだり」の手を表し
たもの。



いみじゆく

▼ひだり。
左前：①着物の前あわせを逆
に着ること。②商売などが

うまうまかなくなる。こと。
▼下位。下位に落とす。(左の
方が右より下位だったこと
から。)
左遷：地位や官職を下げられ
ること。

▼しるし。あかし。
証左：証拠。
▼思想が革新的なこと。(フラ
ンス革命後、急進派が議
会
で左の方の席に座ったこと
から。)
左派：革新派。左翼。
左右：極左

左佐

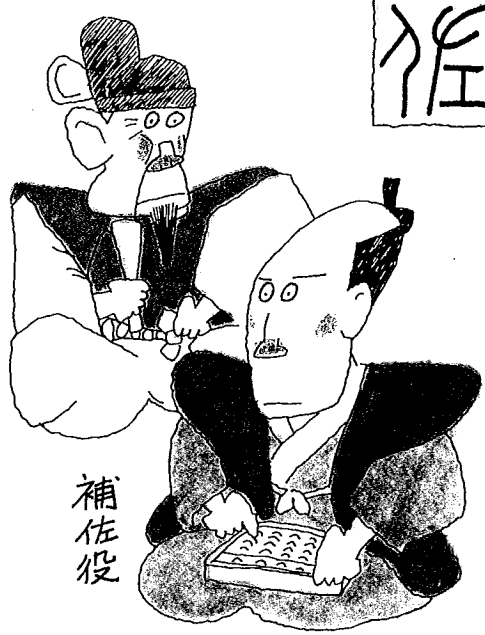
佐

サ

「2」年

7画 一仁伊佐佐佐

なりたち 人と左との会意形
声字。人の仕事を左手が「た
すける」ことを表した字。手
助け。



いみじゆく

▼たすける。
補佐：ある仕事について主と
なる人を助ける役目。また、
その役目の人。

佐幕：江戸末期、幕府を支持
し、援助したこと。また、
その人々。
用例 勤皇・佐幕
両派の争いの結果、勤皇派
が勝利を収めた。
よみかた 少佐・大佐・中佐

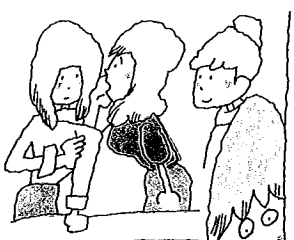
又

また

「2」年

2画 フ又

なりたち 右手の形を表した
象形字。「右手」が本義の字で
ある。また、単に「手」の意味。
今は、手を重ねることから、
「重ねて・また」という意味に
使われる。



いみじゆく

▼列の。
又の日：列の日。後日。
又の名：列名。

▼直接でないこと。
又聞き：直接聞いたのではなく
人を介して聞いたこと。ま
た、その話。
又貸し：借りたものを、さら
に別の人に貸すこと。
又いとこ：親同士がいとこの
関係にあること。また、そ
ういう関係にある人。

友

ユウ

「2」年

4画 一ナ方友

なりたち 古い字形では右手
(又)を重ねた形の会意形声字。
手を重ね合う「親しい」ともを
表した字。今の字形ではナ(手)
と又(手)と握手した形と見る
ことができる。



いみじゆく

▼とも。
友人：友達。
友邦：仲良くつきあっている
国。

友軍：味方の軍隊。
親友：仲の良い、心から信頼
している友。
旧友：古くからの友達。
▼仲が良い。
友好：仲が良いこと。例 友好
国。
よみかた 友愛・友情・悪友・
学友・級友・校友・交友・戦
友・知友・盟友
さんこう 特別なよみかた↓
友達

又友